２０２６年１月８日（木）
進路だより
Ｖｏｌ．37　第３５号（通巻 1340 号）進路指導部

新年を迎えて

「共通テスト」まで残り９日。冬休み中も、これ以上ないくらい勉強したことと思います。

本番で力を発揮するために

- **体調管理**　：最後まで気を抜かずに。
- **リラックス**：深呼吸で気持ちを落ち着けて。
- **自信を持つ**：自分がやってきたことを信じて。

が、大切になってきます。自分を信じて、落ち着いて臨んでください。

「校内共通テストプレ」をきちんと振り返ろう

１２月２４・２５日に校内共通テストプレが実施されました。３４４名が参加しました。**問題の復習**は当然やってありますね。迷った末とか、なんとなくマークしたものが正解だった場合も確認してありますか？　復習とともに重要なのが、**自己採点との差・マークミスのチェックです。**

本日返却される個票（成績一覧表）には、自己採点の得点・実際の得点・校内平均点が示されています。自己採点と実際の得点が違っていた場合、色がついています。今回、多くの人が何らかの自己採点ミス・マークミスを犯しています。

本番では注意するから集中するから大丈夫などと考えていませんか？　普段からすべてに緊張感をもって取り組んでいかないと、本番で焦ってしまったり、最後まで集中力が続かなかったり、自己採点がやはり合っていなかったり・・・ということになりかねません。自己採点と実際の得点との不一致は最悪の場合、出願校の決定の判断、ひいては合否に、影響が及んでしまうかもしれません。

科目別の個人成績表には、「正答率」が５０％以上なのに誤答だった場合は色がついています。他の受験生の多くが得点できるところを落としているということなので、要注意です。**基礎基本問題は絶対に落としてはいけません。ケアレスミスも絶対にやってはいけません。**わかっているんだから次は大丈夫ではないのです。ケアレスミスの原因は演習不足・基礎基本の抜けであることが多いのです。再度、足元を見直してください。

第一志望はあきらめない！～現役生はまだまだ伸びる!!

◆目標は、チャレンジしなければつかめない！・・・冬休みも終わり本番が近付いているというのに学力が上がってこないという焦り・不安を感じている人へ。

現役生の７割以上は『逆転合格』です。チャレンジ校だからといって、受験しなかったら、第一志望校にあったはずの君の席に、君が座ることはできません。自分の席が然るべき場所に用意されていることを忘れないでください。

◆今の学力は入試日の学力ではない！

１日は 24 時間。24 時間は 1,440 分。「共通テスト」まで９日間で、１２,９６０分あります。睡眠や食事など必要な時間を除いても、まだまだ伸びる時間はあります。まして、国立の二次個別試験までは、１ヶ月以上あります。その間に私大を受験する人は、受験しながら伸びていきます。今までの模試判定は、入試日の判定ではありません。日々伸びると信じて、新しいものに手を付けるのではなく、復習することで記憶を確実なものにしていってください。

自己採点について ～再確認しよう～

校内共通テストプレの自己採点のミスが多くありました。11 月のベネッセ駿台マーク模試等でも、自己採点と実際の得点との誤差が多々見受けられました。計算ミスあり、マークミスあり、マークのズレありです。マークミスの中には、**訂正した際の消し方不十分によるダブルマーク・逆に消しすぎによる他のマークの消去など**も含まれます。こういったケースでは、自分では正解したつもりでいるので、実際の得点との誤差が大きいと出願ミスにつながる可能性も出てきます。「正確な自己採点」のために、以下のポイントをしっかりと守って、とにかく慎重に解答、自己採点をしましょう。

正確な自己採点のために ～共通テスト試験本番での解答の掟～

- □試験開始前に、見直しの時間も計算に入れて時間配分をすること。
- □受験番号や名前などの記入に誤りがないかどうか確認すること。
- □「科目選択」のマークは何度も確認。
- □マークの「ダブり」や記入欄の「ズレ」などがないか確認すること。
- □受験中に自分の解答を問題冊子に必ず控えること。
- □マークシート上で訂正した場合、問題冊子の控えにも訂正を反映させること。
- □訂正の際は完全に消しゴムで消すこと。
- □問題冊子の控えとマークシートの解答とが一致しているかを最後に見直すこと。
- □緊張による手汗で鉛筆の粉が滲んで解答用紙が汚れることも。
  →ハンドタオルやハンカチなど拭くものを用意。

受験中の注意点 問題冊子に解答を控える。自己採点は受験中に始まっている！

時間との戦いになる共通テスト。しかし正確にマークするためには、焦りは禁物。解き始める前に見直し時間も含めた時間配分をすることが必要です。その上でマークミスをしないよう解答すること。まず、問題冊子に解答をチェックし、大問ごとにまとめてマークすることで、記入欄のズレなどのマークミスを防ぐことができます。これは、正確な自己採点をするためにも重要。記憶だけに頼った自己採点にならないよう、きちんと解答を控えること。見直しによって発見した間違いを訂正する際には、**マークシートだけでなく問題冊子の控えも修正することを忘れないようにしよう。**

自己採点の仕方① 『データネット(ベネッセ駿台)』『共通テストリサーチ(河合塾)』を使って自己採点。

共通テスト終了後は、ベネッセ駿台のデータネットと、河合塾の共通テストリサーチを使って自己採点します。受験中に問題冊子に控えておいた解答番号を Web で入力していくと、得点が自動で計算される。どの問題をマークしたのかを間違えると、誤った得点となるので入力ミスがないかを時間をかけて慎重に何度も確認すること。

自己採点の仕方② 入力、送信は慎重・確実に！

出願時の資料となる合格可能性判定はここで提出された情報(得点、志望校)がもとになります。入力ミスをしてしまうと、せっかく正しい自己採点結果が出ていても、実際とは異なる判定が出てしまうことがあるので、送信前に入力内容を必ず確認すること。また、クラスや出席番号、氏名、志望校、科目名などについてもしっかりと確認すること。